

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡崎市立六ツ美北部小学校] 担当教諭名 [杉山 康子] (2年 118名)

相手国・地域 [ジンバブエ]

海外学校名 [Helena Primary School] 担当教諭名 [Sipwe Manyerenyere]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	生活科	ジンバブエの子と友だちになろう	8
	生活科	六北のすてきをしょうかいしよう	11
	図画工作	ジンバブエの友だちと絵をかこう	8
	生活科	ジンバブエの友だちになったことをふりかえろう	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	おいしい においと 楽しい音で みんな にこにこ Yummy smell & Happy sounds Everyone is smiles.
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	世界みんなが仲良くするために、一緒に食べたり、踊ったり、遊んだりすることが大切だと思う。お祭りをイメージし、祭り櫓を中心に踊る人や屋台で食べる人を描いた。そして、同じテーブルで同じ鍋から互いの食文化を大切にしながら一緒に食べる様子を表現し、仲良く過ごせるようにという思いを込めた。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ジンバブエについて調べたり、講演を聞いたりすることで、異文化への理解を深めることができた。 ・サザを食べたり、ショナダンスを踊ったりすることにより体感し、遠い国を近くに感じることができた。 ・1枚の壁画を子供たちが協力して描くことで、達成感を味わうことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校と連絡を取り合っ、進めていくことが難しかった。 ・自分の英語力を高める必要を感じた。 ・相手校と自校の人数の差が大きく、直接交流した体験をもつ子が少なかった。子供たち同士がスカイプ以外の方法で交流する機会を増やしたかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムで送られてくる映像や写真を楽しみに待ち、ジンバブエへの関心が高まった。 ・伝統的な食文化だけではなく、好きな食べ物が自分たちと同じだったことや、日本にしかないと思っていたものが、ジンバブエにもあることを知り、遠い国を身近に感じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカの国は、自然環境が日本とは違い生活文化も大きく違うと考えていた。しかし、伝統的な食文化以外には、欧米の食文化が多くなっているところが日本と同じであることに気付くことができた。 ・子供たちが世界に目を向けるきっかけになって、協働学習を進めることを楽しむことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> ジンバブエの国調べを行った。 自己紹介、学校、国語や生活科の学習の様子を伝えるビデオを制作。 スカイプで自己紹介を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ジンバブエで仕事をされていた方から食文化、自然、音楽や町の様子などを聞くことで、自分たちと相違点について、意欲的に考えることができた。 好きな食べ物について英語で伝えることができた。 	生活8
共有 テーマ学習	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 町探検で調べたことをまとめ、スカイプで発表する。 サザの作り方をフォーラムで送られてきた動画や講演で知ったことをもとに作り味わう。 六ツ美音頭をスカイプで披露する。 フォーラムにアップされたショナダンスを見て、一緒に踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本らしい回転寿司、和菓子屋、エビせんべい店などを選んで紹介することができた。 サザを作って食べることで、主食はいろいろあるが、カレーに合わせるとご飯もサザもおいしいと感じることができた。 ジンバブエの人はダンスが好きだと聞いていたので、日本の踊りを見せようと踊ることができた。 ショナダンスを見せてもらい、それを見ながら一緒に踊ることで楽しみながらジンバブエの文化を体感することができた。 	生活9
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画に込める思いを話し合い、テーマをフォーラムで知らせた。 図案を考え、配置をフォーラムとスカイプで知らせた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな食べ物、自画像、日本らしい食べ物のお店、畑、踊りなど、いくつもの要素を組み合わせられる場面を考え、お祭りの中に表現することにした。 仲良くなったことを表現するために同じテーブルで食べている姿を描いた。 	生活2 図工2
創造 壁画制作	11月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> クラスごとに紹介する場面を決めて、下絵を描き、色塗りをする。 色塗りの様子をフォーラムで知らせた。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ色塗りを分担し、絵が完成していくのをとても楽しみにしていた。 4クラス終わって完成した絵を見て、達成感を味わうことができた。 相手の描く様子も真剣に見ていた。 	図工6
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> 完成した絵を見て、絵が描かれているものについて話し合う。 学習発表会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ジンバブエで描かれていたものを見て、自分たちと同じところや違うところを見つけて、発表資料を作ることができた。 1年間の取り組みを学年で共有することができた。 	生活6

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	町探検で見つけた「六北の町のすてき」の中から、日本らしい食べ物を考え、選んで紹介することができた。
異文化を理解する力	4	今まで知らなかったジンバブエのことを知ることができ、ジンバブエに興味関心をもつことができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	ジンバブエで仕事をされていた方から食文化、自然、音楽や町の様子などを聞いて、まとめることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	2年生にとって英語で話すことは大変であったが、スカイプやビデオ制作で伝えようと努力することができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	5	国が違ってもダンスや好きな食べ物が似ていることに気付き、距離が離れていても通じ合うものがあることを感じる事ができた。
主体的に考え行動する力	3	調べたことの中からやりたいことを考えたが、なかなか行動するところまで至らなかった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	3	英語で伝えることが難しいため、絵や写真を見せあって交流を進めたかったが、交流の時間と手段が限られていて難しかった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	同じ鍋からカレーを食べたり、ダンスを一緒に楽しんだりすることをもとにして、世界中の人々と仲良くしたいという気持ちを表現できた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	自分たちの絵の続きをジンバブエの子が描いてくれた喜びに加え、壁画を大勢の人に見てもらいたいという気持ちが高まった。